

【2020年7月新着図書案内】

情報コーナーに新しい図書が27冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『それはあなたが望んだことですか ーフェミニストカウンセリングの贈りもの』	河野貴代美編著	三一書房	2020年	146.8カ オレンジ	全国のカウンセリング・ルーム等での相談事例をもとに、現代を生きる女性が抱える問題を考察し、次世代への提案に結び付ける。
『夫婦・パートナー関係もそれでいい。』	細川貂々&水島広子著	創元社	2019年	146.8ホ オレンジ	パートナーの存在に疑問を抱いた漫画家が、数多の夫婦面接と治療経験を持つ精神科医の元を訪ねたコミック・エッセイとコラム。
『気もちのリテラシー 「わたし」と世界をつなぐ12の感情』	八巻香織著	太郎次郎社 エディタス	2019年	146.8ヤ オレンジ	行き場のない気持ちの落としどころとは？「さびしい」「不安」「おそれ」といった12の感情の持ち味を理解し、その付き合い方を見直す。
『ナイチンゲール 神話と真実 新版』	ヒュー・スモール著 田中京子訳	みすず書房	2018年	289.3ヒ アオ	クリミアで名声を得ながら、帰国後、看護の現場に背を向け続けたのはなぜか。ナイチンゲール伝のいずれにも抜け落ちていた真実を追った初版、改訂版に結論の加筆を生かした新版。
『人権の世界地図』	長島隆監訳 長島隆、江崎一朗、 石田安実訳	丸善出版	2019年	316.1フ アカ	女性や子供の権利、様々な差別などを取り上げ、地図とグラフ、150か国以上のプロフィールとデータにより、人権侵害の事例と人権とは何かについて解説する。
『足をどかしてくれませんか。 ーメディアは女たちの声を届けているか』	林香里編 小島慶子、山本恵子、 白川桃子、他著	亜紀書房	2019年	361.4ハ ミドリ	男性中心に作られるメディアに対して、ジャーナリスト、研究者、エッセイストらが女性としての体験から、メディアのあるべき姿とみんなが心地よい表現を考える。
『「労働」から学ぶジェンダー論 Society5.0でのライフスタイルを考える』	乙部由子著	ミネルヴァ書房	2019年	366.3オ ミズイロ	「労働」をキーワードとして、現代女性の生活状況を男女共同参画・キャリア・家族等をめぐる法制度・事例を踏まえて解説し、今後、女性の生活はどう変化していくのかを展望する。
『女性労働の分析 2018年』		公益財団法人 21世紀職業財団	2019年	366.3ニ シロ	「平成30年の働く女性の状況」において、働く女性の実態と特徴を明らかにするとともに、「働く女性に関する対策の概況」において、厚生労働省が行っている対策を取りまとめる。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『ちょっと気になる「働き方」の話』	権丈英子著	勁草書房	2019年	366ケ ミズイロ	年齢や性別にかかわらず、誰もが働きたい時期に無理なく働くことのできる社会にするにはどうすればよいのかを、働き方改革と、それに関する社会保障の動きなどから考察する。
『フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終わるのか』	堀内都喜子著	ポプラ社	2020年	366.7ホ ミズイロ	幸福度ランキングで世界1位になったフィンランド。その結果を生み出した背景や現状を、仕事や日常という視点から探り、フィンランド流の働き方と生き方の秘訣を紐解く。
『上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください!』	上野千鶴子、田房永子著	大和書房	2020年	367.1ウ ミドリ	母と娘、結婚、恋愛、子育て、フェミニズムと性的話、フェミニストなどに関する、7時間に及び対談。
『ぼそぼそ声のフェミニズム』	栗田隆子著	作品社	2019年	367.1ク ミドリ	就活、婚活、非正規雇用、#MeToo…。現在の社会が見ないようにしてきた問題を拾い集めてつづやき続ける。弱さと共にある、これからのフェミニズムの形。
『この星は、私の星じゃない』	田中美津著	岩波書店	2019年	367.1タ ミドリ	日本のウーマンリブの旗揚げから半世紀を経て、著者の胸中に去来するものは? 東日本大震災以降のエッセイを中心にした作品集。
『ジェンダー・暴力・権力 —水平関係から水平・垂直関係へ—』	鳴子博子編著	晃洋書房	2020年	367.1ナ ミドリ	18世紀後半のフランス革命から現代日本の食の問題まで、「ジェンダー・暴力・権力」を共通テーマにした9人の研究者による論考。
『メアリ・ビードと女性史 —日本女性の真力を発掘した米歴史家—』	上村千賀子著	藤原書店	2019年	367.2ウ ミドリ	女性は男性とともに歴史を創りあげてきた「文明」の創造者であると主張したアメリカ女性史研究のパイオニアであるメアリ・ビードの、日本とのかかわりと業績を明らかにする。
『ルポ定形外家族 わたしの家は「ふつう」じゃない』	大塚玲子著	SBクリエイティブ	2020年	367.3オ キイロ	ひとり親や再婚家庭、里親・養親家庭、LGBT家族など、様々な立場や環境で育った人たちの話から、「子供にとって本当に必要なことは何なのか」を探る。
『毒親サバイバル』	菊池真理子著	KADOKAWA	2018年	367.3キ キイロ	親に押しつぶされなかった元子供たち11人の赤裸々な体験談を、イラストで綴る。
『母からの解放 娘たちの声は届くか』	信田さよ子著	ホーム社	2016年	367.3ノ キイロ	娘たちを支配し侵入してくる母親たちの行動理由と、どうすれば距離がとれるのかを解説。娘たちが自分らしさを取り戻し、楽に生きられるようにとの願いを込めた一冊。
『未婚中年ひとりぼっち社会』	能勢桂介、小倉敏彦著	イースト・プレス	2020年	367.4ノ キイロ	なぜ未婚が増えるのか? これまでの結婚のあり方にこだわらない、自由と安心を両立させる関係を築くにはどうしたらよいのか? 独身中年男性たちへのインタビューから解き明かす。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『育てられない母親たち』	石井光太著	祥伝社	2020年	367.6イ ギン	家族はどのような問題を抱え、それがどのように絡み合い、解決するには何が必要なのか。育児困難や虐待の事例に潜む複合的な問題を浮き彫りにする。
『ジソウのお仕事 50の物語で考える子ども虐待と児童相談所』	青山さくら、川松亮著	フェミックス	2020年	369.4ア ピンク	児童福祉司の体験から綴られたジソウで働く人たちの日常の姿とともに、児童虐待や児童相談所について解説する。
『ワンダーウーマンの秘密の歴史』	ジル・ルポール著 鷺谷花訳	青土社	2019年	726.1ル チャイロ	原作者マーストンと家族の歴史を掘り起こしつつ、「フェミニズムの心理的プロパガンダ」として構想されたワンダーウーマンの起源を明らかにする。
『林芙美子全文業録 —未完の放浪—』	廣畑研二著	論創社	2019年	910.2ヒ チャイロ	林芙美子の詩業を含む全文業に光をあてることを目的とした基礎研究。
『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』	大前栗生著	河出書房新社	2020年	913.6オ チャイロ	「ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい」「たのしいことに水と気づく」「バスタオルの映像」「だいじょうぶのあいさつ」の4篇を収録。
『リボンの男』	山崎ナオコーラ著	河出書房新社	2019年	913.6ヤ チャイロ	専業主婦の時給はいくら？ 「時給かなりマイナスの男」が発見した、新しい“シュフ”の未来。
『さわこのじてん』	今美幸、今佐和子著	北海道新聞社	2019年	916コ チャイロ	重い障害のある娘とどうにかして言葉を交わしたいという母の願い…。日常生活で使う単語から感情を表すものまで、伝わる喜びを束ねた世界に一冊の「じてん」。
『謎とき『風と共に去りぬ』 —矛盾と葛藤にみちた世界文学』	鴻巣友季子著	新潮社	2018年	933.7コ チャイロ	『風と共に去りぬ』には、作者によるどんな仕掛けや戦略が潜んでいるのか。また、どんな技法が効果を発揮しているのか。テキスト分析と作家研究を取り入れた評論。